

おおきいき 議会だより



(撮影：議会広報広聴常任委員 吉原 信雄)

野方小学校そば打ち体験

12月定例会

- | | |
|-----------------|--------------------|
| ● こんなこと決めました | ● 町政を問う（一般質問）・・・ 7 |
| 平成29年度補正予算・・・ 2 | ● 議会のうごき・・・ 12 |
| 決算認定・・・ 3 | ● 新年あいさつ・・・ 13 |
| 条例・・・ 4 | ● 町民の広場・編集後記・・・ 14 |
| 陳情／人事案件・・・ 5 | |

2020年国体を目指し ビーチスポーツ競技場整備委託料決定 補正予算 平成29年12月定例会

本会議での審議内容については、抜粋したものを掲載

ビーチスポーツ競技場整備実施設計業務委託料 200万円

2020年のかごしま国体に関連する経費であり、正式競技となるビーチバレー競技会場として整備するための実施設計業務を委託するものです。



質：どのような設計内容となるのか。

答：施設関連では、おもてなしコーナー、選手の控室、本部のプレハブ、仮設シャワー、仮設トイレ、仮設の観客席の設置を予定している。コートに関しては、試合用を8コート、練習用を2コート、散水施設を4箇所設置する計画である。なお、既存の手洗い施設については排水機能の不備が見受けられることから改修を計画している。

農林水産業施設 災害復旧工事 850万円

9月下旬の長雨や台風の被害に伴う農業用施設等の復旧工事を行うものです。

施設型給付費 1631万円

人事院勧告に伴う事業費の増及び制度改正に伴う単価改正等により保育園の運営費等に係る施設型給付費を補正するものです。

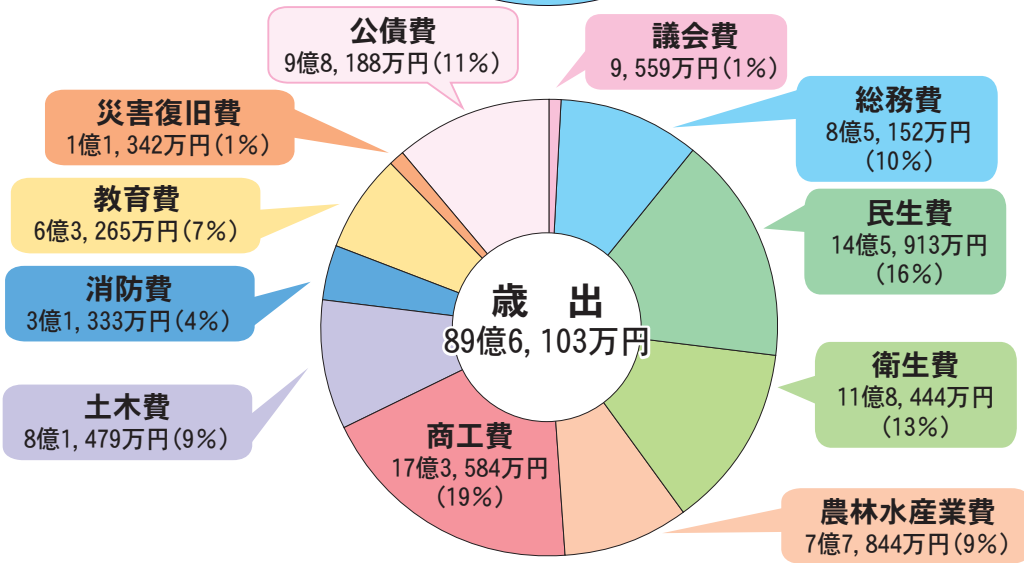
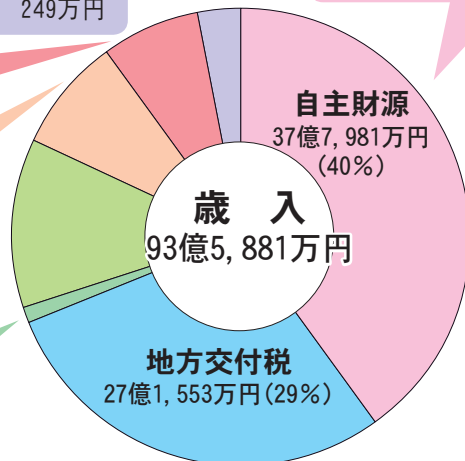
平成28年度 一般会計・特別会計決算6件を認定

その他 2億5,623万円(3%)

利子割交付金	77万円
配当割交付金	192万円
株式等譲渡交付金	109万円
地方消費税交付金	2億2,719万円
ゴルフ場利用税交付金	849万円
自動車取得税交付金	1,054万円
地方特例交付金	374万円
交通安全対策交付金	249万円

町税	12億9,844万円
分担金及び負担金	6,785万円
使用料及び手数料	6,539万円
財産収入	2,333万円
寄附金	16億7,461万円
繰入金	3億6,256万円
繰越金	1億7,301万円
諸収入	1億1,462万円

町債	6億3,172万円(7%)
県支出金	7億5,403万円(8%)
国庫支出金	11億3,547万円(12%)
地方譲与税	8,604万円(1%)



(歳入歳出内訳金額は四捨五入のため、合計とは異なる。)

平成29年10月10日から10月27日までの18日間、本町会計の決算審査を実施した。町の財政は、概ね健全運営なされたと判断されるが、交付税の動向や社会保障関連経費の増加が見込まれることから、今後も自主財源の確保に努めるとともに、予算の合理的且つ効率的な執行がなされるよう意見の申し入れをした。なお、平成28年度決算の内容は次のとおりとなっている。

一般会計決算審査 特別委員会

審議内容の抜粋

○健康検診事業における各種健診の実施において、早期発見は医療費の抑制にもつながることから、保健師等の未受診者の訪問に今後も力を入れながら、健康意識の改革と対策を講じられるよう要望した。

○スポーツ合宿市場調査委託について、陸上競技者のニーズ把握調査の結果を踏まえ、今後の合宿誘致へ向けた取組みに十分に検討されていくよう要望した。

○下水道設備の老朽化などに伴い一般会計からの繰入金増加も考えられることから、一般会計からの繰入金抑制に努める手立てを思考されたい。

○農地中間管理事業における実績は評価するものの、今後は農地の集約化について更に努力されたい。

物管理条例を制定

条例の主なもの

●大崎町法定外公共物管理条例の制定

これまで道路法、河川法の適用を受けない農道及び水路等の法定外公共物内の電柱、電話柱等の占用物にかかる占用料については、公共性が高いとの判断から、占用料を減免扱いとしていましたが、今回、管理条例を定め占用物にかかる占用料について、大崎町道路占用料徴収条例を準用し、法定外公共物内における占用料の徴収を見込んでいくことから、条例の制定を行うものです。（6ページを参照）

●大崎町職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づき大崎町職員の給料月額等の改定を行うために本条例の一部を改正するものです。

●大崎町町長等の給与等に関する条例及び大崎町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づき町長、副町長、教育長及び町議会議員の期末手当の支給率の改定を行うために本条例の一部を改正するものです。

●大崎町道路占用料徴収条例の一部改正

本条例に規定している電柱等の工作物や施設の設置により、町道を占用した場合の現在の占用料の単価を鹿児島県の単価に見直すことから、本条例の一部を改正するものです。

質…祭礼、縁日、その他の催しに際し、一時的に設ける看板や旗ざお等について、占用料の徴収方法や設置状況の把握はどのような方法で行うのか。

答…占用料の徴収については、町が後援または主催するイベントについては、従来どおり徴収はしない。ただし、民間の事業者が収益的活動を行う場合については、この条例に基づいて占用料を徴収することになる。また、設置状況の把握についても、これまでと変わりはないと考えているが、道路を占用するに当たって車や歩行者等の道路の交通に支障がある場合については、従来どおり行政指導を行うことが道路管理者としての責務だと思っている。

●大崎町行政財産の使用料徴収条例の一部改正

町の行政財産である公有地への電柱、電話柱等の占用物について、大崎町道路占用料徴収条例に基づく占用料を準用して徴収する改正を行うために本条例の一部を改正するものです。

2017年
12月定例会

12月6日～
12月19日

こんなこと決めました！

大崎町法定外公共

陳情1件を全会一致で採択

「育ちにくさをもつこども」及び「障がい児」とその「家族」が安心して暮らせる地域生活を求める陳情書

趣旨

障害者差別解消法の施行等、社会的に弱い立場にある人の権利保障に向けた国内法が少しずつ拡充される中、障がいがあっても差別されることなく、大崎町で育つすべての子どもたちとその家族が安心して生きていくことのできる地域づくりを願っている。

以上のような趣旨から以下の6項目について検討されるよう陳情されたものです。

1 大崎町においては障がいや特性をもつたこどもとその保護者への根強い偏見があり、多くのこども、保護者が悩み苦しんでいます。地域住民に対して、これらについての理解を図る取り組みや施策づくりをしてください。

2 現在、障がいや特性を持った子どもたちへの支援を受けるため、私たち保護者は、鹿屋市・志布志市・肝付町など町外への送迎を強いられる現状です。地域で安心して発達支援を受けることが出来るよう、町内に療育の場を設置してください。

3 私たち保護者は、療育につながるまで不安の中での子育てを強いられてきました。支援の入り口となる子育て支援センターや幼稚園、保育所（園）等の専門機関の機能や専門性を高めるような定期的な研修制度の充実を図り、安心して子育てができる地域づくりをしてください。また、障

害者差別解消法に基づき、合理的配慮のもと豊かな学校生活を送れるよう、通級指導教室・特別支援員を含め、すべての教職員に対して特別支援教育に対する研修制度の充実をしてください。

4 すべての子どもが等しく権利を保障され、豊かな保育、教育を受けることが出来るよう保育所（園）・幼稚園・学校に対して「巡回支援専門員整備事業」を進めてください。

5 育ちにくさや障がいをもつたこどもたちをもつ私たち保護者は、親子登園での療育やりハビリ、病院通いとかかる費用も大きい上に、就労が困難な状況にあります。保育所（園）の入所（入園）の際に必要なとされている「就労の条件」の緩和をしてください。

6 小学1年生が学校に適応できない状況、いわゆる「小1問題」を予防していくために、小学校入学までに身につけておいてもらいたい基本的な生活習慣や躰^{しづな}などの情報共有を図り、就学前教育機関と小学校とで一貫性のある教育を進めていってください。

教育委員会教育長を同意

教育委員会委員の任期が満了となった事から、引き続き新教育委員会制度に基づく教育委員会教育長として、同意をしました。



氏名 藤井 光興 氏（72歳）

住所 仮宿930番地1

常任委員会報告

12月定例会で付託された議案の審議内容(抜粋)

総務厚生常任委員会

●平成29年度大崎町一般会計補正予算(第4号)

◇合併処理浄化槽補助金(990万2千円)

質 … 合併浄化槽の設置について、町内業者と町外業者の利用状況はどうであるか。

答 … 今年度の現時点での実績件数は65件であり、町内業者は約3分の1の21件となっている。

要望 … 今後、町内業者を利用した場合にはメリットを与えるなど、町内業者利用促進の在り方を検討されるよう要望した。

◇めいぶつチョイス販売委託料(30万円)

質 … 手続方法はどのように行うのか。

答 … マイナンバーカードを使って専用の機器でID番号を取得し、インターネットの活用により、クレジットカードや携帯電話のポイント、航空会社のマイルなどをマイナンバーカードに集約することで、各自治体のポイントを利用し、特産品と交換していくものである。

文教経済常任委員会

●大崎町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

◇大崎クリーンセンター維持管理業務(19万円)

質 … 補正増の要因は何か。

答 … クリーンセンターの汚泥に係る運搬量が当初の見込み以上になることが予想されることから、今回補正するものである。

要望 … 月別の汚泥処理量に変化があることから、汚泥の生成について減少できる要因を究明し、今後の汚泥処理量の削減に努めるよう要望した。

●大崎町法定外公共物管理条例の制定について(本条例の概要については、4ページを参照)

質 … 本条例に「流水を利用するため、これを停滞し、又は引用する」行為は、町長の許可を受けなければならぬとあるが、この行為についてはどのようなことを想定しているのか。

答 … 堰せきを用いて水田等に用水として利用するための停滞や引用については町長の許可が必要になる。

質 … 本条例が施行される平成30年4月以降は、多くの事案が発生すると思われるが、違反者は罰則の対象となり、過料が発生するのか。

答 … まずは注意喚起を行い、改善が図られない場合は、改善命令を出ことになる。それでも改善されない場合は、罰則を適用する流れになる。この件については、関係する水利組合や土地改良区とも協議をして対応する事になる。本条例に抵触する行為については、担当課で迅速に対応する。なお、本条例に関する詳細な部分については規則で定める予定である。

一般質問

町政を問う

宮本昭一 議員 P 8

- ・本年度の施政方針について
- ・5期目の公約について
- ・全国和牛能力共進会対策について
- ・いじめ問題について
- ・不登校問題について

稲留光晴 議員 P 9

- ・「核のゴミは持ち込ませない事を明確に表明することを求める」ことについて
- ・「遺跡・資料館」について
- ・「教育支援委員会」について

児玉孝徳 議員 P 10

- ・自治公民館問題について
- ・防災行政について

神崎文男 議員 P 11

- ・防災について
- ・子ども貧困について

議会を傍聴してみませんか!!

手続きは簡単です。

本会議の当日、傍聴者カードに住所・氏名を記入するだけです。議会を傍聴することは、町政を知るよい機会です。

定例会は年4回（3月、6月、9月、12月）行なわれます。

また、一般質問のある日程のときは、事前に防災無線でもお知らせしています。どうぞお気軽にお越しください。

次回の定例会は3月です。

本年度施政方針の総括と評価を問う

政策は順調に進んでいる



宮本 昭一 議員

町長は、平成27年10月に本町総合戦略を策定し、これを踏まえ本年度の所信について取り組んでいる。これまでに総括し、評価をどのように捉えているか。

一定の評価はできている

町長

子育て世帯の支援策や人口減少対策など、定住のための補助金制度や、子ども医療費助成・人口減少対策としての条件整備が順調に進んでおり、一定の評価はできているものと考えている。

5期目の抱負は

宮本議員

5期目を目指し今回も無投票当選であった。将来の本町のあるべき姿を目標に、全力を投入し邁進していただきたいと思うがどうか。

町政発展のため尽くす

町長

公約に掲げたように、人は地域活動の原動力であることを認識し、対話を重んじ、誠心誠意、町政発展のために尽くす。

リサイクル奨学金制度の内容と実施は

宮本議員

公約の「リサイクル奨学金制度」は、定住化を目的とした良い制度だと思いが、その内容と実施はいつからか。

金融機関と協議が必要

町長

町と提携した金融機関が、通常よりも低金利の奨学ローンを創設し、ローンを活用した高校生や大学生、専門学校生などが、卒業後町内に帰ってきた場合に、金融機関への返済金を町が補償するものである。今後、細かい制度設計や基金条例の制定などが必要であり、今しばらく待つてほしい。

学校給食費の負担軽減額はいくらか

宮本議員

「学校給食費の負担軽減」については、本年度は一部減額されているが、公約の負担軽減額はどの程度の金額か。

千円の追加を考えている

町長

29年度から小・中学校とも一人当たり、月額千円を助成しており、公約の学校給食費の一部助成については、更に千円の追加を考えており、合わせて二千円となる。

水田圃場の整備計画は

宮本議員

借り手の規模拡大を図るため、農地の集積や団地化が必要とされるが、機構関連事業の水田圃場整備事業で、受益者負担が伴わない国の事業がある。今後どのような計画で進めるのか。

関係課との連携が必要

町長

「農地中間管理機構関連農地整備事業」が30年度からスタートになる。この事業は人・農地プランに基づく農地中間管理事業の地域集積が必須要件となるので、関係する農

業委員会・農林振興課・耕地課との連携を図り、地域集積の整った地区から整備を進めていく。



曾於地区畜産共進会の様子

若い農家を育成する

町長

若い農家の飼育管理技術を磨いていくことが大事である。品評会に意欲のある若い農家を育成し、熟練の管理技術を伝承しながら、行政・農協と一体となり、5年後の鹿児島大会に本町から出品できるように、飼養管理技術の向上に向けた取り組みを進めたい。

報奨金の考えは

宮本議員

若い担い手にやる気を起こさせるため、県共進会に出品し優勝したら思い切つて報奨金を出す考えはないか。

慎重に考えたい

町長

報奨金については、県内の他の自治体の今後の動向を踏まえつつ、慎重に考えさせていきたい。

※その他の質問

いじめ問題について
不登校問題について

核のごみ持込ませないことを表明せよ

核のごみ最終処分場の説明会の申し入れを受ける考えはない



稲留 光晴 議員

*NUMOによる核のごみ処分場の説明会を拒否し、核のごみを持ち込ませないことを明確に表明するよう求めて11月2日、本町へ要請行動を行った。町長の見解を問う。

説明会の申し入れを受ける考えはない

町長 本町への要請行動での要望書はうけとった。当然ながら核のごみ最終処分場に関する説明会の申し入れを受ける考えはない。

中央公民館遺跡資料展示物の陳列改善求める

稲留議員

展示物の可能な限り、目線に近い陳列や、年代表示、説明書きが必要ではないか。



年代別の説明が望まれる展示場

今後改善をはかっていく

教育長

限られたスペースの中でわかりやすくし、表示説明や年代別に陳列するように改善していく。

教育支援委員会の組織と目的は何か

稲留議員

障害を持つ子どもと、その保護者は進学・進級について多くの悩みを持つている。その立場で相談に乗ってくれるのが教育支援委員会だと考えるが、その組織と目的は何か。

障害のある児童・生徒に適正な就学をはかる

教育長

大崎町教育委員会の諮問において協議をおこなう。障害のある児童・生徒に関して総合的・科学的判断を行い、適正な就学をはかることを目的としている。

当事者の意向を尊重すべきではないか

稲留議員

障害を持つ児童・生徒は、動作、反応などおくれる。科学的な判断をベストな選択とするより、親と子の考えを最も尊重してより良い選択をすることが必要ではないか。

最終的には保護者の意向を尊重する

教育長

その子にとって自立をはかるためにどこに就学させるべきか。就学指導では、就学支援委員会に出された判断をもとに、就学についての指導を繰り返すが、保護者がそれでも納得されない場合がある。そのときには、保護者の意向を尊重する判断になる。

大崎中学校の支援学級は一階に設置できないか

稲留議員

障害を持つ子どもは、車いすで二階への移動は大変困難である。また支援体制も改善が必要であることから支援学級を一階に設置できないか。

納得できる進め方ができたら良いと考える

教育長

最終判断は教育委員会が判断しなければいけない。中学校で生活できるよう町長部局とも相談しながら進めていく。保護者の要望など聞き、お互いに納得できる進め方ができたら良いと考える。最終的には保護者の意見を聞いて検討する。

*NUMOとは

原子力環境整備機構の略称で放射性廃棄物の地層処分技術の研究がはじまり、地下300メートルより深くに埋める法律が決まった。この法律に基づき設立された団体。

自治公民館未加入対策と応援交付金増額を

補助金の増額を検討する



児玉 孝徳 議員

本町の、自治公民館への加入率と、町政に対しての影響はどうか、未加入対策は行っているか。

窓口での促進と看板を設置

町長

未加入世帯は1,987世帯の27.7%で増加している。町政への影響は、郵送コストの増大と、行政情報の滞りが予想される。対応は窓口で、加入通知書を配布し、促進看板も設置している。メリットの説明は、決まり事など各々違うので難しい。



平成 29 年度 上住集落総会

加入促進検討会を設置してはどうか

児玉議員

未加入対策として地域コミュニティ活性化促進条例の制定や、自治公民館加入促進検討会は出来ないか。

研修で有効性の検証を行う

町長

今後、先進的な市町村への研修で加入促進協議会の有効性を検証する。行政課題研究会で未加入者問題を取り上げており、他団体と連携をはかり、加入促進に努めたい。

がんばる地域応援交付金増額はできないか

児玉議員

ごみ処理から防犯灯の維持管理や集落内清掃など多くが自治公民館の事業で資金も必要だが、がんばる地域応援交付金などを増やせないか。

増額を検討する

町長

この事業は、地域活性化事業や、自主防災組織

の実施へ補助金を交付するもので、必要な施策の立案・実施とともに、補助金の増額については検討する。



一昨年の台風16号による災害復旧現場(菱田川)

要配慮者の避難対策は出来ているか

児玉議員

本町の要配慮者^{※①}を地域単位で正確に把握し、避難対策は出来ているか。

要支援者名簿に登録し提供する

町長

要配慮者の把握は本人の同意で、避難行動要支援者名簿に登録し、災害

時、提出依頼があれば、提供できる。避難対策は地域住民の相互支援が大切であり、自助・近所・共助が必要になると考える。

河川の堤防の嵩上げは出来ないか

児玉議員

河川の越水対策として、堤防の嵩上げや、上流での分水、浚渫工事^{※②}などを県や国へ要望・要請ができないか。

関係機関と連携して要望する

町長

越水を含めた防災対策について関係機関と連携をとりながら、引き続き要望活動を進めていく。

防災センターの考えはないか

児玉議員

要配慮者の速やかな避難が行政の役割と思うが、自主防災組織等の研修などに利用できる施設とし

て、災害発生時には、防災活動の拠点として、防災資材等の備蓄倉庫も備え、津波などの災害時には、屋上が避難タワーとなる大崎町防災センター設置の考えはないか。

考えはないが訓練の検証で防災体制を整備

町長

整備する計画はないが、防災無線による広報や防災マップ等の活用による周知に努め、関係住民の適切、安全な避難体制を推進していく。今後は、大崎町沿岸部全域を対象とした津波防災訓練を実施し、防災体制の整備に努めていきたい。

※①要配慮者とは、災害発生時、自力で避難が困難な方、高齢者、障害者、乳幼児、その他の特に配慮を要する人
※②浚渫工事とは、河川などの水深を深くするため、水底をさらって土砂などを取り除く工事

自主防災組織の強化はできないか

一人一人の防災意識を高める事が重要



神崎 文男 議員

は平成27年は66%。平成28年は71%が活動している。

**活動の強化策は出
来ないか**

神崎議員

世界で発生する大きな地震の約21%が日本で起きている。地震・津波の防災で大切なことは、自分の命は自分で守り、自分達の地域は自分達で守る。そのために自主的に結成する防災組織が自主防災組織である。本町の組織率と活動状況はどうか。

組織率 91・6%

町長

本町の自主防災組織は12月現在で、143ある自治公民館のうち、131自治公民館で91・6%の組織率である。そのうち活動している組織

事が重要である事から、頑張る地域応援交付金に関する自主防災組織の活動への補助金等について検討を考えている。

**活動の強化策は出
来ないか**

神崎議員

大きな災害が起きた時に、多くの命を救うことが出来るのは自主防災組織の活動が大きいと思う。そこで強化策が出来ないか。

**リーダー研修と活
動の補助金で検討**

町長

県が平成27年度から進める地域防災リーダーの養成講座で、気象や災害の基礎知識、救命、災害時の図上訓練などの内容で必要なポイントを習得できる。また、日頃からの訓練で、町民一人一人の防災意識を高揚させる



水消火器による町防災訓練（野方地区）

女性消防団員の活用は

神崎議員

近隣市町は女性消防団員が10人以上いる。本町は昨年2名が菱田消防団

に入団した。今後の女性消防団の活用は考えられないか。

**入団状況を見ながら
活動の充実をはかる**

町長

今後の入団状況を見ながら充分の間は分団付で活動の充実をはかる。火災予防の活動や応急手当の普及活動など、女性ならではの心配りのある活動につなげる。

**こども貧困で絶対的
貧困はどれくらいか**

神崎議員

絶対的貧困は、生命を維持するために最低限必要な衣食住が満ち足りていない状態の事であるが、町内にどのくらいいるのか。

**本町はこの定義に
即した統計はない**

町長

子ども貧困は対象となる世帯の18歳未満の児童の割合である。絶対的貧

困は様々な要因により収入を得ることができないため、生計を維持する事が困難な世帯である。それが生活保護世帯と考えると町内の1%と考えている。

**相対的貧困はどれ
くらいか**

神崎議員

相対的貧困は、その地域、時代、社会において普通とされる生活が享受する事の出来ない状態で、社会的標準的な所得の半分以下の所得しかない世帯の事である。町内にはどれくらいあるのか。

**就学援助費の受給
者と考えられる**

町長

経済的理由で高校進学ができない、塾に通えないとか、部活動に参加出来ないなど就学援助費の受給者と考えると、町内で10・4%である。

対策は考えられないか

神崎議員

子どもの保護者や社会にも問題があると思うが、何か対策は出来ないか。

**近い将来教育費の
無償化で緩和される**

町長

学べない子どもが学べる状況をつくる事は当然我々社会の責務である。国も幼児教育、社会教育の無償化を2020年度から実施すると言われる。学校給食費の軽減や18歳までの医療費の無料化で貧困対策が緩和されるのではと考える。

子どもの貧困率

区分	割合
大崎町	11.4%
鹿児島市	14.6%
鹿児島県	12.9%
全国	13.9%

12月13日 南日本新聞データに加筆（神崎）

議会のうごき

全国町村議会広報研修会

期日…平成29年9月29日
場所…シエーンバツハサポー
(東京都)

出席者…広報広聴常任委員長、
議会事務局次長

研修では、議会広報紙の文章『伝える広報』から『伝わる広報』へと題した講演の他、『第31回議会広報コンクール トップ2 クリニック優秀賞受賞紙から学ぶ』と題して、議会広報サポーターの芳野政明氏により全国優秀賞を受賞した『議会だより』を用いて、その編集方法等について研修が行われた。

東海大崎会

期日…平成29年10月14日
場所…名鉄グランドホテル
参加者…60名(議員11名欠席1名、議会事務局2名)
内容…総会(事業・決算報告他)
東牧会長あいさつ、議長あいさつ、会員の親睦

県外研修視察

期日…平成29年10月15〜16日
二年に一回行われる県外研修を愛知県東海市と静岡県の静岡市及び掛川市で実施した。

東海市では、2014年にオープンした「加木屋クロスカントリーコース」を視察した。当該施設は、全長約2.5km最大高低差約30mの木チップが敷かれたコースとなっており、大崎町においても、「陸上競技の聖地実現プロジェクト」に伴う、クロスカントリーコースの整備が進められる中、今回学んだ事を今後の整備に生かせるよう努める。

静岡市では、地震の知識や防災対策について、体験などを通して学ぶことができるよう工夫された静岡県地震防災センターを訪問し、静岡県の地形と災害の特徴などについて研修した。本町の防災行政に取り入れ可能な取組みなどについては、今後提言していきたいと考えている。

掛川市では、大東ビーチスポーツ公園運動場におけるビーチスポーツについて研修を行った。施設内のビーチバレーコートでは、

国体の静岡県予選会や東海プロツク大会が行われており、本町でも2020年のかごしま国体でビーチバレーボールが行われることから、今回研修で学んだビーチバレーコートの活用状況や運営管理について、今後の施設整備などに生かせるよう提言する。



ビーチスポーツ会場の運営に関する研修

近畿大崎町会

期日…平成29年11月12日
場所…新大阪江坂東急REIホテル
参加者…115名(議長、議会事務局次長)
内容…総会(経過報告、会計承認)、隈本会長あいさつ、議長あいさつ、会員の親睦

地方自治法施行 70周年記念式典

期日…平成29年11月20日
場所…東京国際フォーラム
出席者…議長、議会事務局次長
内容…地方自治に功績のあった団体・個人の表彰、記念式典、記念シンポジウム

全国町村議会議長大会

期日…平成29年11月22日
場所…NHKホール
出席者…副議長、議会事務局次長
内容…会長あいさつ、来賓祝辞、大会宣言、要望採択(35件)、特別決議(4件)、特別講演(増田寛也氏)

本町への議会研修

●1月15日宮崎県都農町議会が議会運営及び議会活性化に関する研修のため、議員4名、議会事務局職員1名来町された。

●1月16日福岡県大牟田市議会がごみの分別収集などに関する研修のため、議員3名来町された。



新年明けましておめでとうございます。

新春にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。今年はやかな正月でありましたが、町民の皆様にとりまして平穏無事な一年であることを願っております。

昨年は4回の定例会と1回の臨時会が開催され、わが町の様々な取り組みや諸問題などの審議を得て、行政に反映させております。町議会としましても皆様のご支援、ご協力を賜りまして町政の発展に寄与することができました。このことを改めて心から感謝申し上げます。

私も12人の議員といたしましては、議決機関としての機能を十分に發揮して町民の皆様の信託とご期待に添うべく努力するとともに、議員の役割として行政のチェック機能、町民とのパイプ役、政策提言など、議員自ら資質向上をめざします。特に喫緊の課題は少子高齢化と人口減少の問題であり、差し迫った課題として取り組んで参ります。

結びに、町民各位のご健勝とご多幸を心からお祈りし、年頭のご挨拶といたします。

大崎町議会

私の想い

【みんなやれる！伸びる！ ひまわりの学校】



菱田小学校PTA
会長 大 崎 神

平成二十八年四月よりPTA会長をさせていただき、もうすぐ二年を終えようとしています。この間、校長先生をはじめ先生方、保護者、地域の皆様のお力をお借りして、PTA活動が行えている事に感謝申し上げます。

現在、菱田小学校では七十五名の児童が、日々勉強や運動を頑張っています。その中でのPTA活動と致しまして、学年対抗ミニバレーボール大会、親子歩こう会、校区合同運動会、運動会バザー、門松作りなどがあります。

学年対抗ミニバレーボール大会は各学年が一致団結し、白熱したプレーを見せるとともに、日頃の運動不足がたたり、珍プレーも続出するなど非常に楽しい大会です。

親子歩こう会は、夏休みの朝六時頃小学校に集合し、ラジオ体操を行った後に出発します。徒歩ルートは、小学校から中沖方面に行くコースや、鉄道跡を通るコースなど様々あり、毎年多くの家族が参加し、親子での親睦を深めるいい会です。

菱田校区との合同運動会ですが、平成二十九年度は、あいにくの雨の中の開催となりました。校区の競技種目はほとんど行わず、小学校の種目を優先し行われました。雨の中、一年生から六年生までが練習した成果を十二分に発揮し、思い出の残るとても素晴らしい運動会になったと思います。

十二月は門松作りが行われました。門松作りは六年生の思い作りとなり、親子で竹を切

たり、竹を割ったりしました。初めてノコギリやナタを使った児童が多く、怪我をしないか心配でしたが、学校正門に立派な門松が出来き、いい思い出作りになったと思います。

一年間を通じて、学校、保護者、地域の皆様の支えがあり、PTA活動に取り組む事ができ感謝いたします。菱田小学校のキャッチフレーズ「みんなやれる！伸びる！ひまわりの学校」は子ども一人ひとりが、健康で学ぶ力と豊かな心を持ち、自信に満ちたたくましい菱田っ子の育成が目標となっております。菱田の子はみんな出来る。そして菱田の子はみんな笑顔で挨拶ができる。そんな素晴らしい子どもの育成をこれからも保護者、先生方、地域の皆様で取り組めるように頑張っていきたいです。

菱田の子はみんな出来る。そして菱田の子はみんな笑顔で挨拶ができる。そんな素晴らしい子どもの育成をこれからも保護者、先生方、地域の皆様で取り組めるように頑張っていきたいです。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。三箇日は穏やかな天候に恵まれ新たな年をお迎えのこととお喜び申し上げます。ここに決算審査特別委員会、12月議会などを、まとめた議会報をお届けいたします。議会報も審議内容を解りやすく、お伝えできるよう編集しておりますが、さらに解りやすい議会報を目指して努力して参ります。
(中山美幸)



編集作業の様子

- 議会広報広聴常任委員会
- 委員長 吉原信雄 副委員長 児玉孝徳
 - 委員 中山美幸 委員 宮本昭一
 - 委員 神崎文男 委員 稲留光晴

発行責任者 大崎町議会議長 小野光夫